

平成 26 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 島 根 秀 明
(コード 8737 東証第2部)
問合せ先 取締役執行役員社長室長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

平成27年3月期第1四半期業績と前年同四半期業績との 差異に関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の業績が、前期の平成 26 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）の業績に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期業績と前年同四半期業績との差異

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
平成 26 年 3 月期第 1 四 半期連結累計期間 (A)	1,769	1,663	639	839	695	58 円 76 銭
平成 27 年 3 月期第 1 四 半期連結累計期間 (B)	1,381	1,199	121	153	338	23 円 99 銭
増減額 (B-A)	△388	△463	△518	△685	△356	△34 円 77 銭
増減率 (%)	△21.9	△27.9	△81.1	△81.7	△51.3	△59.2

(注) 当社は平成 26 年 3 月 10 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結会計期間（平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日まで）において、期首に 14,000 円台で始まった日経平均株価は、ウクライナ情勢の緊迫化や日銀による追加緩和期待の後退等を受け、4 月に 14,000 円を割り込みました。その後、中国経済指標の改善や米国株式市場の上昇、政府の成長戦略への期待感等から上昇に転じ、6 月末に 15,162 円で取引を終了しております。

このような市場環境の中で、当社は、当社グループ全体として経営基盤の拡大を図るべく、証券関連事業におけるリテール営業の強化に加え、アセットマネジメント関連事業やコンサルティングサービスを通じた顧客チャネルの多様化に取り組んでまいりました。また、前連結会計年度より当社グループ関連事業強化のために調達しております「あかつきフィナンシャルグループ(株)無担保社債」につきましては、一部をグループ戦略としてのアセットマネジメント事業の強化に充当すべく、NS ホールディングス(株)との資本業務提携及び同社子会社が組成する高齢者向け住宅特化型の不動産ファンドに出資予定であり、今後も資金需要にあわせ調達を予

定しております。

当社グループの中核会社であるあかつき証券㈱におきましては、収益基盤の拡大と顧客資産の多様化を図るべく、タイムリーな商品戦略を行ってまいりました。同時に、販売チャネルの多様化を図るための IFA（金融商品仲介業）ビジネスの強化にも取り組み、仲介業者契約社数につきましては、3月末より10社増加し、6月末には38社に増加いたしました。また、マーケット環境・投資家ニーズに応じた各種投資セミナーの開催、新規口座・NISA 口座の獲得等の収益拡大に向けた各種施策に加え、5月には為替証拠金取引（FX）及び株価指数証拠金取引（CFD）の取扱いを開始すべく豊商事㈱との業務提携を結び、商品ラインナップの拡充と新たな顧客層の開拓に取り組んでおります。

ドリームバイザー・ホールディングスグループにおきましては、ウェルス・マネジメント㈱において前連結会計年度より稼働を開始したホテルファンド組成に伴う賃料収入や当該ファンドにかかる匿名組合分配益を計上したほか、既存の受託案件に伴うアセットマネジメント収益も計画通り推移いたしました。また不動産仲介の新規案件の獲得、「NSJ 日本証券新聞」と連携させた IR 支援活動の強化等、同社グループとしての収益の拡大に取り組んでおります。

これらの取り組みにより、当社の連結子会社であるあかつき証券㈱の当第1四半期連結累計期間の業績は、受入手数料 606 百万円（前年同四半期比 47.8%減）、トレーディング損益 487 百万円（同 20.0%減）、営業利益 251 百万円（同 64.2%減）、経常利益 269 百万円（同 61.7%減）、四半期純利益 234 百万円（同 61.0%減）となりました。

また、ドリームバイザー・ホールディングスグループの業績は、売上高 240 百万円（同 109.9%増）、営業損失 65 百万円（前年同四半期は 23 百万円の損失）、経常損失 70 百万円（同 24 百万円の損失）、四半期純損失 71 百万円（同 25 百万円の損失）となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の営業収益は 1,381 百万円（前年同四半期比 21.9%減）、営業利益は 121 百万円（同 81.1%減）、経常利益は 153 百万円（同 81.7%減）、四半期純利益は 338 百万円（同 51.3%減）となりました。

以 上